

# くらしのパートナー

## 美容医療のトラブル

～手術日が決まっていなのに申込金が返金されない!!～

**事例** 目の下のたるみが気になっていた。インターネットで美容クリニックを探し、カウンセリングの予約を取って4月にクリニックに行き相談したところ「すぐに手術したほうがよい。大変なことになる」と医師に言われた。「夏休みがいつ取れるかわからない。決まってからにしたい」というと「申込金を払わないと予約できなくなる」と言われ、55万円のたるみ改善手術を契約し、申込金5万円を支払った。帰宅してすぐ電話をかけ「キャンセルしたい」と伝えて申込金の返金を求めたが「『予約日時の変更やキャンセル等いかなる場合も申込金の返金はできない』と契約書に書いてある」と言われた。返金してほしい。

ここ数年、脱毛や脂肪吸引などの美容医療の相談が増えています。事例のようにカウンセリングだけのつもりで出向き、不安を煽られて当日契約するトラブルがあります。この事例では、夏休みが取れたとしても、施術まで最短で3か月はあり、契約から数時間後のキャンセルでした。しかも、当日契約することを拒んでいるにもかかわらず、強引に契約を迫られていると思われます。

美容医療は基本的に自由診療であり、健康保険が適用されないため高額になりがちです。契約期間が1か月を超え、かつ5万円を超える契約のうち、特定の美容医療サービスに対しては特定商取引法が適用されますが、対象にならないとクーリング・オフができず、返金についてはクリニックとの話し合いになります。

トラブルに遭わないためには、契約したり申込金を払ったりする前に契約内容を確認し、納得できるまで説明を求めましょう。安くなるからと当日割引やモニター契約を勧められるケースもありますが、カウンセリング当日に契約することは避け、契約前によく考える時間をとりましょう。納得できないときは、きっぱり断る勇気も必要です。

とらの子【マモルくん】  
怪しい内金にご注意を!!



イラスト: まっぴんぐ もえ

# 梅雨から夏に向けて、 衣類のトラブル事例や注意点

東京都クリーニング生活衛生同業組合  
理事長 森 鉄雄 氏

これからジメジメとした梅雨、そして日差しが強く汗ばむ夏がやってきます。  
梅雨の時期と夏の時期は、それぞれよくある衣類のトラブルがあり、注意が必要です。  
今回は梅雨と夏に分け、トラブル事例と注意点について解説します。

## ● 梅雨時期の衣類のトラブル事例や注意点

梅雨時期によくあるトラブル事例はカビや害虫による食害です。

シーズンを終えた冬服は必ずクリーニングに出して汚れを落とし切ってから適切な環境で次のシーズンまで保管するようにして下さい。出し忘れなどを理由にシーズンの直前にクリーニングに出す方がいますが、好ましくありません。何故かという、**シーズン後に蓄積した汚れは保管する前に落とし切ることが重要**だからです。これを「**しまい洗い**」といいます。

では「しまい洗い」をしないとどうなるかというと、汚れである栄養源や温度、水分や酸素が作用してカビが発生したり、春から夏の終わりまでの温かい季節に、暗い場所で通気性が悪く湿度の高い場所を好む衣料害虫が活動的になったりします。例えば、礼服など「一度しか着てないからクリーニングに出さなくても平気でしょ」と着用後汚れを落とさずに保管するとカビが発生したり、寒いことを理由に再度着用しそのまま保管したりすると、残存した汚れ部分が生地ごと虫に食べられることも…。**衣類はたった一度の着用でも必ず汚れが付着することを覚えておいてください。**

このように汚れを落としきる事も重要ですが、高い温度や湿度もカビや食害の影響を受けるため、保管時は下記のポイントを実践することをお勧めします。

- 日頃から衣類の保管場所を清潔に保ち、通気性を確保する。
- クリーニングから返ってきたらポリ袋は外し、風通しの良い場所に数時間吊るしてから収納する。
- タンスなどには衣類を入れ過ぎないように、余裕を与える。



- 定期的に陰干しして、湿気を抜く。
- クローゼットは通気性も悪く、湿度も高いため、除湿機や除湿剤を用いて湿度を下げる。
- 防虫剤を正しく使う。

## ● 夏時期の衣類のトラブル事例や注意点

夏時期によくあるトラブル事例は**濃色衣類の変色と黄ばみ**です。

変色を引き起こす原因は「汗」や「紫外線」です。

人間は常に汗をかいていますが夏は特に汗をよくかきます。その汗の成分の一部が、黒や紺など濃色衣類で使用されている染料を分解してしまい、変色という形になって表れます。また、全体の色が変わるのではなく、部分的に変わるのも特徴です。

次に意外に知られていないのが「紫外線」による影響です。衣類が紫外線により変色するメカニズムは、日光に当たって色あせた本の表紙などと同様です。紫外線という強いエネルギーが色を表現する染料分子を分解し、変色作用を引き起こします。

こうした影響を防ぐには、**汗を吸った衣類は出来るだけ早めに洗う**ことや、**裏返して干す**ことで紫外線による影響を目に見えない箇所に抑えることが出来ます。

更に、昨シーズンの衣類を出してみると衣類が黄ばんでいた…！なんて経験はありませんか？その黄ばみの原因、実は「洗濯で落ち切らなかった汚れ」です。

そもそも、**家庭洗濯では汚れを落としきるのに限界があります**。さらに、節水を目的として脱水が一度で済む洗剤や、お風呂の残り湯を使って洗濯をしているという方もいらっしゃると思いますが、「衣類に付着した汚れを落とす」という意味では、課題が残ります。

目に見えない衣類に残った汚れが時間の経過と共に蓄積・酸化し「黄ばみ」となります。

よって、**出来るだけ日常的に家庭洗濯していた品物もシーズン後はクリーニングでしっかり汚れを落とし切ることをお勧めします。**

更に詳しく知りたいという方は、ホームページ内のコラムも参考にしてください。

東京都クリーニング生活衛生同業組合HP





令和7年度 文京区 消費生活研修会

# 資産運用の終活

## ～運用の出口と引き継ぎ～

資産運用をしている人、これから始める人へ、  
運用の終わらせ方と次世代への引き継ぎ方をお伝えします。

|       |                                                                                               |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ●日 時  | 令和7年6月21日(土) 午前10時から12時まで                                                                     |
| ●場 所  | 産業とくらしプラザ研修室(文京シビックセンター地下2階)                                                                  |
| ●対 象  | 区内在住・在勤・在学の方                                                                                  |
| ●定 員  | 46人(抽選)                                                                                       |
| ●費 用  | 無料                                                                                            |
| ●講 師  | オフィス・カノン ファイナンシャルプランナー<br>馬養 雅子 氏                                                             |
| ●申込期間 | 5月19日(月)から6月6日(金)まで<br>(郵送は6月4日(水)必着)                                                         |
| ●問合せ先 | 文京区消費生活センター<br>〒112-8555<br>文京区春日1-16-21<br>文京シビックセンター地下2階<br>電話 03-5803-1105<br>平日8:30～17:00 |



### 文京区消費生活センター

〒112-8555  
東京都文京区春日1-16-21  
文京シビックセンター地下2階  
**TEL 03-5803-1105 / FAX 03-5803-1342**  
**相談専用 TEL 03-5803-1106**  
受付時間 9:30～16:00(月～金 ※祝日・年末年始を除く)

### 文京シビックセンター 最寄駅

- 地下鉄  
東京メトロ丸ノ内線・南北線  
⇒後樂園 下車  
都営三田線・大江戸線  
⇒春日 下車
- 都営バス  
⇒春日駅前 下車
- 文京区コミュニティバスB-ぐる  
⇒文京シビックセンター下車

